



令和8年

新年のご挨拶



医療法人博愛会
牧港中央病院
理事長 洲録盛一

新年、明けましておめでとうございます。
と冒頭で書きましたが、すでにお正月気分は抜け2026年(千年)はすでに目まぐるしく走り出しています。博愛会牧港中央病院・にぬふあふし診療所・訪問看護ステーションは地域の人々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムを推進してまいります。

年頭に当たり、いつものように職員の皆様と次の事を共有したいと思います。病院理念『私たちは患者様や家族に信頼され、地域社会に貢献できる質の高い安全な医療を実践します。基本方針に循環器疾患、血液透析治療、在宅医療、外国人診療等への取り組み・実践を掲げています。沖縄県の救急指定病院でもあります』そして、経営理念に「次世代に残せるような安定性と、発展性のある病院作りの追求」を掲げています。

昨年の年頭挨拶文の大きな目標として、心臓血管外科《再生・進化》を取り上げましたが、昨年4月から宗像宏先生、今年1月から大石淳実先生と新しい心臓外科医の仲間が加わり、今年は希望の持てるスタートが切れたと思います。引き続き、麻酔医を含めた医師・看護師・各部署の人材確保・育成に取り組んでいきたいと思っています。医療法人博愛会は、故山口宗豊先生が1976年(昭和51年)6月14日に設立し、今年は節目の50周年を迎えることになりました。開院当初は外科、内科、小児科、循環器科、眼科、整形外科があり総合病院に近い形態でした。現在では循環器外科・内科、腎臓内科・血液透析、在宅医療、外国人診療に特化し、呼吸器内科、総合診療科を加えた診療体系に変遷してきています。

新年のご挨拶



医療法人博愛会
にぬふあふし診療所
院長 大瀧篤

謹んで新春のお祝いを申し上げます。
旧年中は、にぬふあふし診療所(訪問・外来診療)及び訪問看護ステーションにぬふあふしに、たくさんの方の患者さんご紹介、そしてお忙しい中、人材派遣をして頂きまして、感謝申し上げます。お陰さまで、前年よりも業績をあげることができました。

また、何より患者さんへの対応の質を更に高めていくことができてきたように思います。牧港中央病院からご紹介頂いた患者さん、あるいは逆紹介の患者さんが自宅や施設で平穩に療養されております。まもなく110歳を迎える方は、私の顔と名札を見て、唄いながら、『あい、大瀧先生』と言ってくれます。外来では、106歳の方は、杖歩行で来院。診察室に入ってから、『元気です』と。このエネルギー、パワーは、どこからくるんだらうって、いつも思います。

ところで、今年の千支(えと)は『午(うま)年』。馬は古来より、運氣上昇・成功・活力・物事が勢いよく進むこと等』を象徴する縁起の良い千支とされています。また、努力が実を結び、道が大きく開ける年ともいわれています。

最後に、感動した歌詞の一節をお届けします。
『いくつもの日々を超えて 巡り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい 栄光の架け橋へ』

皆さん、今年も素敵な
一年にしていきたいでしょう。

新年のご挨拶



医療法人博愛会
牧港中央病院
事務長 嘉陽宗貴

これまでを振り返ると、博愛会が地域の皆様・職員の皆様に支えられながらここまで続けてきたことは奇跡に近い出来事のように思えます。その思いを込めて、2026年9月10日に開設50周年記念式典を計画しました。式典テーマに《半世紀の感謝と共に博愛の心を次世代へつなげる》新たな50年のはじまりを掲げました。皆さんと一緒に記念式典を盛り上げていきたいと思っています。
どうぞよろしく願いいたします。
今後の医療法人博愛会の方向性ですが、専門性に特化するだけでなく、患者さんの家族や生活背景まで含めて診る、地域に密着した医療・診療を目指していく必要があると考えています。今後も、社会情勢の環境は厳しくなり、難しい課題に直面していくなかで、患者さんが来たらとにかく対応する姿勢がこれからの病院経営・運営にとって大切な事だと思います。
今年の漢字一文字を考えたときに悩みましたが、『信』にしました。信頼、信念、信仰などの言葉が思い浮かびます。2026年も皆さんと一緒に次世代に向けて頑張っていければと思います。
結びに、今年も皆様とご家族にとって素晴らしい一年となるよう祈念いたします。

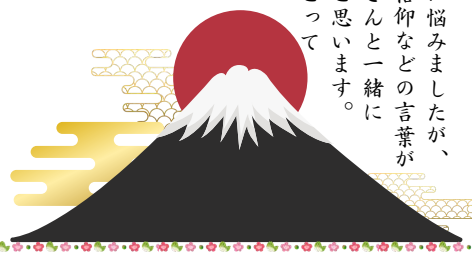
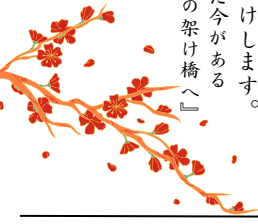
新任医師挨拶




医療法人博愛会
牧港中央病院
心臓血管外科
大石

2026年1月より赴任いたしました、大石淳実と申します。
2007年に順天堂大学を卒業後、同大学心臓血管外科に入局し、18年間にわたり心臓・血管外科手術に携わってまいりました。開心術や血管手術を中心に経験を積むとともに、近年はストラクチャー・ハートデバイス(SHD)をはじめとする低侵襲治療にも取り組んでおります。
沖縄は高齢化が進む一方で、地域に根ざした医療の重要性がますます高まっていると感じ、この地で医療に貢献したいという思いから赴任を決意いたしました。大血管ステントグラフト治療、末梢血管手術、下肢静脈瘤手術なども含め、これまでの経験を生かし、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できる医療を提供してまいります。心臓・血管に関してお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。


今後ともよろしく願いいたします。





また、2025年1月24日 RBC 琉球放送にて
**『意外と知らない心臓のこと
 ～不整脈・心房細動治療の今～』**
 比嘉聡医師他不整脈チームのテレビ放映がありました。

医
当
師
の



今年、私は年男を迎えました。干支が一巡し、改めて原点に立ち返る節目の年だと感じています。


医療従事者として働く中で、日々の業務に追われ、慣れや忙しさから基本を忘れてしまう場面もあります。だからこそ今年は基本の徹底を目標に掲げました。一つ一つの確認、声掛け、報告を丁寧に行う事。それは特別な事ではありませんが、患者さんの安全と安心を守るうえで最も大切なことだと思います。また、医療は日々進歩しています。今年は知識や技術のアップデートにも意識的に取り組み、学び続ける姿勢を大切にしていきたいです。さらに、チーム医療の一員として、周囲への感謝とコミュニケーションを忘れず、相談しやすい頼られる存在を目指します。

年男の一年を次につなげる成長の年に出来るよう誠実に医療と向き合っていきたいと思います。

臨床工学技士
新垣仁寿


2026
新年の抱負

年男・年女



私は牧港中央病院に入職して、二回目の年女を迎えました。この十二年間で病棟、HCU、カテ室、手術室と、色々な業務を経験し、昨年から、副主任に任命される事となりました。

命を守る抱負として、病棟の管理職を担いながら、手術室の看護師としても更なる成長を目指して頑張りたいと思います。



一般病棟
砂川未来

【発行】医療法人博愛会 牧港中央病院 沖縄県浦添市牧港1199番地
【制作】システム：大川 看護部：外間、大城、國仲、古堅 薬局：仲里